

連携中枢都市圏の形成に向けた勉強会（総務省委託事業活用）の立ち上げについて

1 目的

人口減少・少子高齢社会においても、人々の暮らしを支える対人サービスを持続可能な形で提供していくため、平成26年12月27日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において取組を進めることとされた「連携中枢都市圏」の形成等の地方公共団体間の新たな広域連携の促進を図ることを目的として、国の委託事業として調査が実施されます。

この委託事業を活用し、圏域の産業構造等の分析を行うとともに、先進事例の視察等を行い、連携事業の検討を行ってはどうかと考えます。

2 取組内容（案）

- (1) 麒麟のまち圏域の人口動態・産業構造等の分析
- (2) 関係自治体による先進地視察（課長級を想定）
- (3) 具体的な連携事業の検討

3 スケジュール（案）

日にち	内 容
4月下旬	○総務省委託事業に応募（鳥取市） （H28年度の募集期間は4/11～5/13） ※取組の想定 ①麒麟のまち圏域の人口動態・産業構造等の分析 ②先進地視察 ③圏域ビジョン案の作成
5月中	○総務省ヒアリング
6月	○選定・採択 ○必要経費を鳥取市議会6月定例会へ計上 ○事業採択後、総務省と鳥取市で委託契約締結
6月以降	○事業実施
2月	○総務省への実績報告（鳥取市）